

2020 年（令和 2 年）7 月 22 日

在学生（学部生・大学院生）の皆さんへ

中京大学

学長 安村 仁志

### 2020 年度 秋学期授業について（重要なお知らせ）

新型コロナウイルス感染症の影響により、学部及び大学院における 2020 年度春学期授業は、皆さんおよび教職員の安全を第一に考え、開講を約 1 か月遅らせ、原則オンライン（遠隔）で実施することにいたしました（大学が認めた一部の対面授業科目を除く）。対面授業の意義を考えるとつらい決断でしたが、その春学期授業も終盤にさしかかろうとしています。皆さんには不自由なところもあったかと思いますが、精一杯向き合ってくださったことに感謝いたします。また、そのご努力に敬意を表します。

愛知県の感染者数は、5 月 26 日に県独自の緊急事態宣言が解除されたあとも、多くなることなく推移し、収束しつつあるかにみえていました。しかし、このところ首都圏でふたたび感染者が増え、全国に波及し始めており、第二波の到来かと危惧されます。

そのようななかで秋学期の授業をどのようにするかについて、皆さんの、キャンパスに集い、友と一緒に授業を受けたいと願っておられることを思うとともに、感染状況を冷静に見極め、学内で慎重に検討してまいりました。コロナの先行きは不透明で、方針を定めることはたやすいことではありませんが、皆さんにも備えをしていただきたいと、早めに現時点での対応方針をお知らせすることにしました。

新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じた段階（レベル）を別添資料のように設定し、現在は「レベル 2」あたりと位置付けるとともに、秋学期授業開始時も保たれることを想定して、具体的対応を下記の通りとしました。

#### <秋学期授業の方針>

1. 学生および教職員の安全を最大限考慮するとともに、「教育効果」と「教育の質保証」を第一とする。
2. 現時点では、**基本として《通学対面授業》とする。**  
**但し、安全面からキャンパスにいる人数が多くならないよう、大規模授業のオンライン授業（オンデマンド式）も併用する。**
3. 卒業を控える学生には十分配慮して対応する。
4. 感染状況が悪化し、レベルが上がった場合には、春学期同様原則《オンライン授業》とする。

本学の掲げる教育目標を達成し、教育の質を保証できるよう可能なかぎりの方策を講じるとともに、同級生や教員と直に顔を合わせて授業を受けることを願う新生の気持ちにも配慮したいと思います。しかし、全国あるいは県下の感染状況が深刻なものとなった場合には、オンライン授業に切り替えることも考えられますので、皆さんには念頭に入れておいてください。

なお、秋学期授業に関するスケジュール等も別添資料に記載しておりますので、ご確認ください。

以上